

白岡ニュータウン自治会だより

11月晩秋号

平成12年11月18日

白岡ニュータウン自治会発行
会長 岡田光旦挨拶と花と緑の
明るいニュータウン

総合防災訓練 (平成12年10月15日実施) を振り返って

— 他人事でない自分事、積極的参加を! —



今年も自治会の皆様のご協力により「総合防災訓練」を無事終了することができました。特に防災訓練のポスターづくりに取り組んで頂いた「子供達」をはじめ被災者・けが人として参加された「シルバー友の会」の皆様をはじめ、役員として参加された方々につきましても大変ご苦勞さまでした。

こうして防災訓練ができたのも皆様のご理解とご協力があったためと感謝しております。今年は3月に北海道・有珠山の噴火をはじめ、三宅島の噴火では島外避難という事態まで発生、現在も火山ガスが発生しているため帰島できない状況です。さらに周辺の伊豆諸島でも不気味な地震が繰り返し起こる等、自然災害の恐ろしさを、まざまざと見せつけています。このような現状のなかで行われた防災訓練でしたが、昨年よりも参加者も少なく残念に思います。訓練を通した防災の備えと心構えを常に持ち続けることは、簡単なようで難しいことだということを実感しました。

多くの皆さんが5年前の阪神・淡路大震災で、防災への取組みの重要性を痛感している筈であります。防災訓練の当日、実施したアンケート調査に協力してくれた方の多くが防災訓練の必要性を訴えています。ところがゴミゼロ運動、盆踊り大会には多くの人が参加されても防災訓練には参加されない。震災の恐ろしさを知らないことも大きな要因であると感じつつも、一時的な感情に陥る国民性にあることも否定できないような気がしてなりません。

つい私達は、行政が何とかしてくれるもの、行政がするものだと考えがちですが、果たして行政に何処までできるのかを考えないところに問題が潜んでいるように思います。また、行政もここまではできるが、ここから先は住民の皆さんにお願いしますという言葉がありません。ここにも大きな落とし穴があるように考えます。私も阪神・淡路大震災では10日間、現地に行って

現状を視察すると共に復興に携わってきた一人ではありますが想像を遥かに越えた生々しい姿には心を強く打たれた思いが今でも脳裏から離れません。なかでも一人でお骨を抱えた人達を多く見かけたが、どの人も目は虚ろで、やっと歩いているという感じでした。帰る家もなければお骨を安置する場所もないとすれば想像がつくというものです。これが災害の恐ろしさでもあります。

確かに防災訓練には、華やかさはないし魅力のないのも事実ですが、訓練なくして災害の規模・態様に即応した効率的な防災活動はできません。まして震災に立ち向かうことなど到底できないと思っています。

私は「自分の身は自分で守る」「自分たちの町は自分たちで守る」、これが防災の基本だと確信しています。

ひとたび大地震が発生した場合には、地震による直接の被害や火災等による二次災害の発生により、被害は甚大かつ広範なものとなることが予想されます。

特に、南関東地域に大規模地震が発生した場合、その災害の程度によっては多数の人命と財産の損失を招く危険性が大きいといわれています。地震の発生を防ぐことができない以上、地震を迎えうつ手段を確立しておくことは、大切なことだと考えます。

今後とも防災活動につきましてはご理解、ご協力をお願いします。

総合防災訓練総括責任者・副会長 飯塚
防災・防犯・交通担当一同

防災訓練のアンケート集計結果について

「総合防災訓練」の当日、情報・伝達班の皆さんが実施したアンケート集計結果については次の通りです。

1. 防災訓練の実施を何によって知りましたか。
①自治会だより 24名 ②防災ポスター 7名 ③その他 7名
2. 防災無線による防災訓練の放送は聞こえましたか。
①良く聞こえた 14名 ②聞き取れなかった 19名 ③気が付かなかった 5名
3. 自治会主催の防災訓練に参加したことはありますか。
①参加したことがある 19名 ②参加したことはない 18名 ③その他 1名
4. 自治会では毎年、防災訓練を実施したいと思っておりますが、その必要性について
①実施した方がよい 38名 ②実施する必要はない 0名 ③その他 なし
5. その他意見
①消火器の使い方を参加できない人のために、文書で知らせてほしい。
②小さい子供がいた時は参加した。誘い合えば行きやすいのではないか。
③防災無線の放送がはっきり聞こえないので改善してほしい。
④もっとピーアールした方がよい。

以上ですが、防災無線については実際に震災が発生した場合、重要な役割を果たす情報手段であることから、1丁目から3丁目の皆さんに電話による聞き取り調査をさせて頂きました。その集計結果は

- ①風向きによって聞こえる時と聞こえない時がある。
- ②内容が聞き取れなかった。
- ③外にいると聞こえるが家の内にいるとわからない。
- ④意識していないと声が聞き取れない。
- ⑤良く聞こえた（少数）

皆さんから頂いた貴重なご意見を今後の防災訓練に生かしていきたいと考えておりますので、宜しくをお願いします。

次に、今回の防災訓練に参加の各担当班総責任者（役員）に、担当班および全体の感想や反省点等を述べて頂きました。（防災訓練マニュアル順）

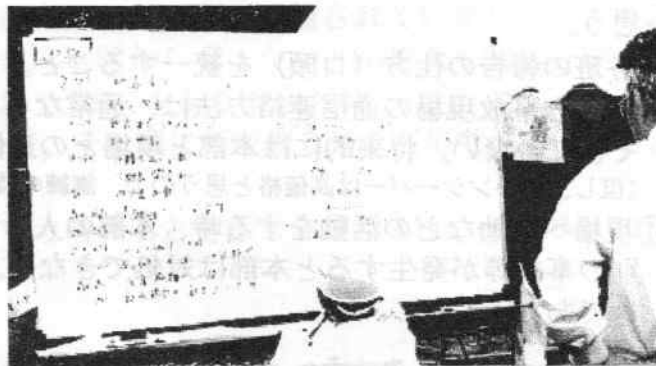
伝達・情報班

ニュータウンを三つの地区に分けて、4、5人の班長さんが一つのチームになり各地区を巡回して広報、情報収集して、それを本部でまとめるという「伝達情報」の役を担当しました。スピーカーで訓練参加を呼びかけながら、アンケートを取るという程度のことでした。

しかし本当の災害が起こった場合はどうだろう。叫びながら避難先を指示し、倒れた建物や燃え上がる家々の間を走り回り、人がいないか確かめて救援するというような、緊張したやや大げさな場面を想像しながらの訓練でした。

周りから見ると、芝居じみた遊びにさえ見えるかもしれないこのような訓練の積み重ねが「万一の時」の備えになると思います。

（高薄）



消火班

今回、一般としても主管の防災・防犯・交通担当理事としても初めての参加で、とにかく準備段階から戸惑うことが多かった。しかも今回から新たに大型炊き出し器や給水タンク等の準備が加わり、何かと目新しいモノばかりで戸惑いもあったが、楽しみながら準備ができました。

本番では消火班の総責任者として「119番通報」の大役？を任せられ、少し緊張しながらも消防車の出動要請をしました。到着後、水消火器での消火訓練となんとか無事に終わることができホッとしました。

ただ、給水訓練の袋に水がスムーズに入らなかったことには、給水装置の制作者として責任を感じるとともに改良したいと考えています。

全体としては、各役員さんは勿論、参加者みんなが真面目に楽しく、アットホームな雰囲気の中で訓練に参加されているのが実感できたし、とても素晴らしい防災訓練だったのではと思いました。

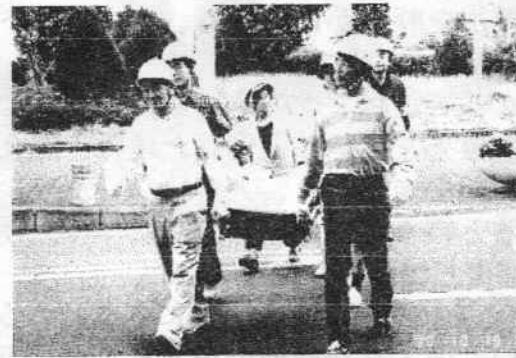
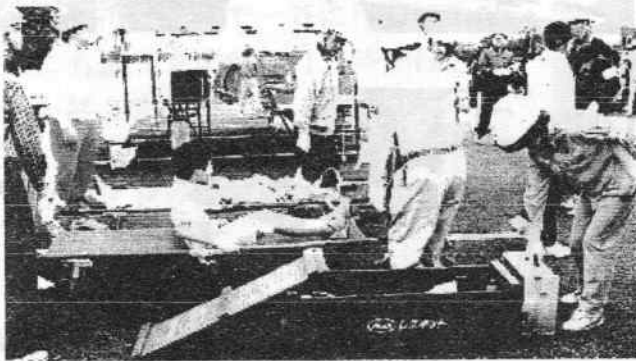
今後はもっと一般の参加者が増えて、ゴミゼロ運動のように住民全体の身近な問題として、また交流の場として浸透されればと感じました。

（高橋）



総論的には良好であったと思いますが、以下に気付いた点を申し述べます。

- ①防災訓練の実施時間の間隔が長くダレ気味、もう少し時間間隔を短縮した方が緊迫感が出ると思う。
- ②各班の報告の仕方（口頭）を統一すること。マニュアルで明文化すべきである。
- ③本部と事故現場の通信連絡方法は、通常ならトランシーバー等で情報交換するが現状はこれがない。将来的には本部と現場との通信連絡方法を確立すべきである。
(但し、トランシーバーは高価格と思うので、訓練の時は役場等から借用するなどの手段を講ずること)
- ④現場へ救助などの活動をする時、本部の人も含め全員が現場に向かっているが、本部空席の時、別の事故等が発生すると本部は対処できない。本部には必ず班の責任者2～3名は残して置くべきである。



(野呂)

避難誘導班

恒例の防災訓練も、年を追うごとに意識も高まってきているようだ。一般の方々も訓練が始まる時間となると続々と集まってきて、親子やご夫婦で熱心に見学されている方が増えてきた。

避難誘導班は、防災訓練本部から「東小学校に避難者がいる、本部に誘導するように」との指示を受け、本部から避難者の名簿を受け、避難誘導班全員駆け足で東小に向かい、同校近くで避難していたグループを発見。名簿と避難者の名前を照合、13名の避難者の内10名を確認、残念ながら3名が行方不明であったが、避難名簿には載っていなかった幼児2名と犬一匹を確認。避難誘導班が避難者の両脇を守る形で、無事に全員を避難誘導班本部へ誘導した。

実際の災害時には、恐らく人名簿などは手配できない渾沌の中となろうが、避難誘導は本部の位置をきちんと確認し、避難場所に至るまでも、他の避難者や負傷者がいないかどうか確認しながら進む必要を感じた。

災害時には一般電話や携帯電話はかかりにくくなるが、公衆電話やインターネットは比較的接しやすくと聞く。トランシーバーなども使って本部との連絡がとれる体制の整備が必要と感じた。

(木村)



昨年は給水班として、今年は給食班として総合防災訓練に参加しました。給食活動は豚汁250食を炊き出し、町からいただいた炊き込みご飯を参加者に試食してもらうことです。今年は昨年の薪で炊いたのと違い、250食が一度に作れる巨大鍋とカマドが準備されていました。このおかげで、防災訓練が1時間も早く終わってしまったにも関わらず、なんとか給食も間に合いました。当日の班長さんのチームワークと手際の良さはいうまでもありませんが、

この鍋やカマドも、県からの補助金で買われました。その蔭に飯塚副会長のご苦勞があったことに感謝いたしました。

来年は是非、ご家族で参加され、子供達といざという時のことを話し合われてはいかがでしょうか。おいしい豚汁を食べながら……。

(高木)



応急給水班

私達の使命は応急給水であり、本部の要請により班員一同一致協力で指定場所（公園の水道）よりタンクに水を入れてスムーズに搬送することが出来た。タンクより参加者に給水するためビニール袋に水を入れる際、要領が判らず手間取った。万一、災害が発生した時に班員全員が集合して、同様の活動が出来るか、また停電した場合、水の確保をどうすればよいのかが話題になり、課題として残った。

白岡ニュータウン自治会の会員の数からして、参加者が少なく、班長中心の訓練でなく、最近多発している地震災害を我が身に置き換えて、全戸参加の訓練にして、避難訓練も含めた行事になればよいのと思う。参加者の中に万一の時、自分達および家族は何処に避難すればいいのかわからない人や、指定場所は決まっているのか、施設は完備しているのか、家族全員が万一の時、何処で合流すればいいのか等々、多数の声を聞き考えさせられる一日だった。

(小川)



平成12年度 第2回ゴミゼロクリーン運動を終えて

9月24日（日）のゴミゼロ運動には、再び多数（総世帯数1,071のところ、大人817名、小学生以下168名、計985人）のご参加をいただき、街中が非常に綺麗になりました。

天候の不良で実施の有無が不安であった中、多くの参加者があったことは、それだけ自治会員の皆様の街を愛する熱意の表れだと存じます。厚くお礼申し上げます。

前日から雨天となり当日朝まで不安な空模様でしたが、雨もあがり9時にはそれぞれの担当地区で一斉に作業に入り、地区にもよりますが1～1.5時間ほどで作業を終えました。



次にゴミゼロ運動に関する活動状況を報告いたします。

9月 7日（木）会員宛に運動実施に

ついて回覧し、参加者名簿への記載を依頼

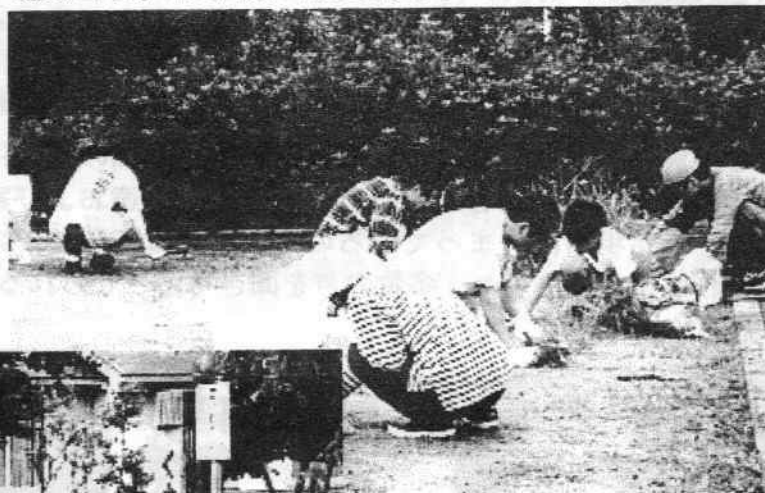
14日（木）各班長を通して参加者名簿を事務局へ提出

16日（土）衛生担当理事と事務局とで同名簿を集計

18日（月）参加者名簿を町役場に提出し、ゴミ袋を受領のうえ衛生部会を開催し、各清掃地域を下調べして人員配置を決め、街区番号札、ゴミ袋、清掃地図、回覧文などをセットし当番班長に配布

24日（日）ゴミゼロクリーン運動当日。終了後、衛生部員でゴミ袋、清掃用具の後片付け

26日（火）道路端に残った落ち葉の整理



衛生部担当理事 川上
衛生部 一同

出退勤途中でのタバコの吸殻のポイ捨てはやめましょう

犬の糞は必ず飼い主が処理して下さい



X'masフェア&青空市



開催日 平成12年12月10日(日) 10時から

場所 アメニティ・センタープラザ(2丁目集会所)

アメニティ・サウスプラザ(3丁目集会所)

主催 白岡ニュータウン自治会

協賛 高岩商店会有志

センタープラザ (2丁目集会所)

- ・餅つき実演販売会
- ・青空市
- ＊花、りんご即売会
- ＊手作り作品販売会
- ＊フリーマーケット
- ・マカロニのX'masリース講習会

サウスプラザ (3丁目集会所)

- ・趣味の作品展示会
- ＊油絵、水彩画、書道、押し花、生け花、フラワーアレンジメント、リース、パッチワーク、版画、写真、盆栽、陶器、折り紙、俳画、短歌など
- ・演奏会
- ＊お母さんの合唱団

「自治会会員住所録」発行見送り

第12回通常総会で示された、今年度の活動・行事計画の一つ「会員名簿」の作成については、平成7年に約750世帯を対象に作成された後、更新されておらず、最新版の発行について役員会で検討しておりましたが、

- 1.全戸の名前が記入された自治会地図が年度内に完成し、配布される。
- 2.自治会事務局では、会員の世帯主、住所、電話番号などが把握されている。
- 3.自治会施設の利用料金などの情報は、自治会ニュースで提供する。
- 4.住所、電話番号など個人情報が悪用されており、自治会といえども個人情報を一般の目に触れる形でまとめるのは時代の流れに反している。

などの理由から発行しないことに決定しました。

なお、規約などについては、別途全戸に配布することとします。

総務担当理事 木村

歳末警戒パトロールのお知らせ

街には早くもクリスマスツリーが飾られ、慌ただしい季節を迎え皆様方のなかには、忘年会の予約も始まったのではないかと思います。早すぎると言われるかも知れませんが、今年も例年行っている歳末警戒パトロールを行いますので、そのお知らせをいたします。

昨年から今年の春にかけて私達の生活を脅かしてきた「こそ泥」も逮捕され、やっと落ち着いた生活に戻ることができました。またピッキングという新しい手口による「こそ泥」に対処するためルネ・グランテラスでは全世帯の鍵をより安全なモノに交換しました。

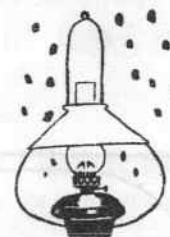
しかし、このような事件はまた何時発生するか分かりません。油断は禁物です。隣近所で「うろうろ」している人を見かけたら声を掛けるなり、110番通報しあうことによって被害を食い止めることができると思います。

ボランティアとして参加される方大歓迎です。慌ただしい歳末を迎えますと、どうしても戸締りが手薄になったり、遊ぶ金欲しさの「恐喝事件」、また一杯飲んで帰宅する人のタバコの投げ捨てによる火災が発生したりします。自家用車の路上駐車についても、お客様が来訪している場合は、フロントに「訪問先」を表示する等して下さい。

歳末警戒パトロールは、自治会員の皆さんが揃って安心できる年越しと笑顔に満ちた新年を迎えられるために実施するものです。皆さんのご協力をお願いします。

記

- 1 実施日時 平成12年12月27日(水)・28日(木)・29日(金)の3日間
午後8時30分～9時30分までの約1時間です。
- 2 集合場所 アメニティセンタープラザ(2丁目集会所)
- 3 その他 ①担当地区、班編成につきましては当日発表します。
②ボランティアで参加頂ける方は、事務局(93-5133)までご連絡下さい。
③当日は「あまざけ」を用意します。



防犯・防災・交通担当
(副会長兼務) 飯塚/役員一同

点描

私の小さい秋

- ・ 雨の夜の緑道。足元の悪さに困っていると、張り出した枝を押さえて道を作ってくれた中学生。「ありがとう。遅いのね。」「塾.....」恥ずかしそうに答える横顔に見覚えがある。数年前、子供会の行事でいつも目をキラキラさせて活躍していたね。ニュータウン生まれの世代もいよいよ受験期を迎えたんだね。大人はいつまでも君たちの応援団だよ。闇の中に懐かしくやさしいキンモクセイの香りが流れ、忘れかけていたほろ苦い受験生の親の日々を思い出した。
- ・ 少し色づいたケヤキを見上げると、ルネ・グランテラスのルーフガーデンにコニファーの緑が光っている。ウォーキング愛好者、愛犬家仲間が行き交う道沿いには、種から育てたというインパチェンスが満開だ。「霜が降りるまで通る人に楽しんでもらえるから。」と、地域とのつながりを大切にしてくれる心がうれしい。人との煩わしい付き合いを避けて過ごす自分だけの時間にもちょっと心惹かれるが、一人では出来ないこと、周囲の好意に甘えていることの多きにも気付き人生の秋を迎えている。
- ・ この街で出会える美しい秋の色。色づき始めた〇〇さんの柿、△△さんの見事なドウゲンツツジの垣根、街のはずれのカラスウリ。いつか見たいグランテラスの上から眺めるケヤキの並木。紅葉と赤い実が同時に楽しめるアメリカハナミズキには、とりわけ思い入れが強い。
若い頃、花芽のできる夏に無謀な剪定をしては花が咲かないと嘆いていたことがあった。ある夏、母の看病で剪定を忘れていたら、夏の終わりに数え切れないほどの蕾が現れ、花・実・紅葉を楽しめるようになった。亡き母を思い出させるハナミズキの秋である。

By Forest

編集後記

総合防災訓練も終わり、着実に自治会の行事が通り過ぎて行く感じがします。問題はそれぞれの行事に対する自治会員の関心度だと思います。残念ながら今回の防災訓練は非常に低いと言わざるを得ません。気軽に参加なさる方もいらっしゃる反面、他人事・無関心、勿論不参加の方も少なからずいらっしゃるのではありませんか。参加して発見することもありましようから、ナンセンスと思わず次回から参加してください。

(岡田)

話題もX'masや歳末などとなり、そろそろ年賀状の原稿を考えねばという時期になりました。毎年、気にし始める時期は今ごろでも結局出せるのは、元旦配達期限ぎりぎりだったり、間に合わなかったり。年に1度なのだからせめて宛名位はと手書きにこだわったのも3年前まで、おと年からはついにパソコンのお世話に。でも、結果は同じ。文明の利器?は自分の役に立っているのか、パソコン業界の消費に貢献しているだけのような気がする。ウーム。(氣賀)